

2011年度 地震火山研究センター一年次報告会



日時: 2012年3月23日(金) 13:00-17:15
場所: 環境総合館1階 レクチャーホール

Seismology, Volcanology, Physical Seismology, Crustal Deformation, Exploration Geophysics, Physical Geography, Seismic Source Process, Active Monitoring,



Observation Seismology, Physical Volcanology, Tectonic Geomorphology, Seafloor Crustal Deformation, Paleoseismology, Crustal Structure, Tectonics

同時開催: 木股文昭教授最終講義

時間: 16:15-17:15

『二万人の視線を感じながら
次の巨大地震に備える』

木股文昭教授送別会・懇親会
18:00-レストラン花の木



2004 Sumatra Earthquake (M:9.0; Dec.26, 2004), photo by Fumiaki Kimata



問い合わせ先

名古屋大学大学院環境学研究科 地震火山研究センター

<http://www.seis.nagoya-u.ac.jp> TEL 052-789-3046

名古屋大学地震火山研究センター

2011年度年次報告会(2012/03/23)プログラム

13:00 - 13:10 センター長挨拶

13:10 - 14:50 2011年度総合成果報告

13:10 2011年東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動

○鷺谷 威・伊藤武男・渡部 豪・松多信尚・奥田 隆・堀川信一郎・小澤和浩・鈴木翔太

13:30 駿河ー南海トラフにおける海底地殻変動モニタリング

○田所敬一・渡部 豪・永井 悟・安田健二・坂田 剛・江藤周平・奥田 隆

13:50 地震計アレイでみた2011年新燃岳噴火活動の推移

○山中佳子・中道治久・寺川寿子・奥田 隆・堀川信一郎・山崎文人

14:10 アクロスの桜島への展開

○渡辺俊樹・山岡耕春

14:30 GPS観測網(AGNeSS)によるスマトラ断層の断層固着の空間変化

○伊藤 武男・木股 文昭

15:00 - 16:00 ポスター発表(コアタイム)

P1 西南日本における超巨大地震について ○古本宗充

P2 M9巨大地震の発生を説明する地震発生サイクルモデル ○光井能麻・鷺谷 威

P3 2011年東北地方太平洋沖地震の発生とアスペリティの階層的強度構造 ○橋本千尋

P4 2011年東北沖地震における余効すべりの時空間分布 ○鈴木翔太・伊藤武男

P5 2011年東北地方太平洋沖地震の直前に発生した電離層総電子数異常についての考察 ○山本淳平

P6 空中写真の実体視判読に基づく2011年東北地方太平洋沖地震の津波浸水域認定の根拠

○杉戸信彦・松多信尚・堀 和明・石黒聡士・長谷川智則・鈴木康弘・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム

P7 3月12日長野県北部の地震に伴う地変と栄村周辺地域の活断層

○松多信尚・杉戸信彦・廣内大助・竹下欣宏

P8 地上Lidar測量による長野県・新潟県県境付近の地震に伴う新潟県十日町市松代の泥火山の隆起

○松多信尚・早川裕弐・堀 和明・杉戸信彦・Kuo Yu-ting

P9 SRTMを用いた実体視判読法とスマトラ断層のセグメンテーション ○松多信尚・中田 高

P10 活断層認定をめぐる諸問題 ○鈴木康弘

P11 三宅島におけるGPS(2011)観測について ○奥田 隆

P12 本年度に行った観測網、データ流通網の変更と現状について ○堀川信一郎・奥田 隆・伊藤武男

P13 ポアホール内に設置するシングルフォース型震源装置 ○山岡耕春

P14 地震計アレイ観測からみた諏訪之瀬島火山の爆発的噴火過程

○中道治久・青山 裕・西村太志・八木原寛・太田雄策・横尾亮彦・井口正人

P15 バーゼル地熱貯留層での間隙流体圧分布の推定

○寺川寿子・Stephen Miller・Nicholas Deichmann

16:15 - 17:15 木股文昭教授最終講義

講義題目: 二万人の視線を感じながら次の巨大地震に備える

18:00 - 20:00 送別会・懇親会(於花の木)

主催:名古屋大学大学院環境学研究科 地震火山研究センター

開催場所:環境総合館1階 レクチャーホール